

埼玉県立大学研究開発 センターシンポジウム 2020 (WEB 開催)

オンデマンド配信期間：2月中旬～
7月末(予定)

テーマ：地域のつながりの再構築
を目指して

プログラム：第1部 基調講演
「地域共生社会の実現を目指した国
の施策動向とコロナ禍での対応」
笹子宗一郎(厚生労働省老健局認
知症施策・地域介護推進課課長)
／第2部 シンポジウム「支援者
をいかに支えるか—子どもの食支援
活動から考える」佐藤匡史(日本こ
どもの居場所ネットワーク埼玉支部
事務局／川口こども食堂代表)、
吉川尚彦(埼玉県生活協同組合連
合会専務理事)、古川泰之(埼玉県
福祉部少子政策課副課長)、川越
雅弘(埼玉県立大学大学院／研究
開発センター教授)／パネルディス
カッション

参加費：無料

申込方法：下記申込フォームより
参加登録

HP <https://business.form-mailer.jp/fms/2b7fbff4127411>

※詳細は、下記埼玉県立大学研究
開発センターホームページへ

HP <https://www.spu.ac.jp/research/centers/tabid848.html>

問い合わせ先：埼玉県立大学研究
開発センター

✉ Research_c@spu.ac.jp

☎ 048-973-4362

第4回 新生児生命倫理 研究会(WEB 開催)

日時：3月6日(土)13:00～
16:30

配信：Zoom Webinar によるオン
ラインセミナー

対象：医療関係者

プログラム：特別講演「医療にお
けるパターンリズム」瀬戸山晃一
(京都府立医科大学医学生命倫理
学教授)／講演1「出生前遺伝学
的検査と着床前診断のガバナンス」
武藤香織(東京大学医科学研究所
ヒトゲノム解析センター教授)／講
演2「子どものいのちをめぐる対話
—代理意思決定について考える」
笹月桃子(西南女学院大学保健福
祉学部准教授、九州大学病院小児
科特任教官 助教)

参加費：無料

申込方法：下記 WEB サイトの申
込フォームより事前参加申し込み。

申込締切：2月28日(日)

開催が近づいたら、参加手順をメー
ルでお知らせします。

問い合わせ先：新生児生命倫理研
究会事務局 東京大学小児科 高
橋尚人

☎ 03-5800-8659

✉ nicu-office@umin.org

HP <http://nicu.umin.jp/>

わらべうた 第10回 震災チャリティ WEB 企画 (WEB 開催)

[わらべうたベビーマッサージ、キッ
ズマッサージ、わらべうた産後ダン
ス]

日時：3月6日(土)

11:00、13:00～、3月7日(日)
13:00～

[わらべうたベビーマッサージ、キッ
ズマッサージ、わらべうた胎教マッ
サージ]

日時：3月7日(日)

11:00～

内容：わらべうたの講座のチャリ
ティーイベントです。今年で10年
目の開催となり、2020年時点で、
寄付総額は193万9919円とな
りました。参加者1人に対して、
研究会から500円の寄付をする予
定です(参加者から直接お金をいた
だきません)。

参加者からの寄付も受け付けており
ます(支払いはPayPay 利用可
能)。以下のお問い合わせ窓口にご
連絡ください。

※日本助産師会災害対策基金と日
本看護協会新型コロナウイルス感
染症対策事業に寄付予定です。

申込・問い合わせ先：

☎ 080-5711-3811

国際母子ケア協会(IAMB) 認定セミナー(WEB 開催)

[バランスセラピー 〈オンライン
4日間+スクーリング1日コース〉]

日時：

● ベーシックコース：[オンライン]

5月17日(月)、5月19日(水)、
5月24日(月)、6月2日(水)
18:30～21:00、[スクーリ
ング] 10月12日(火)

● アドバンスコース：[オンライン]

6月16日(水)、6月23日(水)、
7月7日(水)、7月14日(水)
18:30～21:00 [スクーリ
ング] 10月1日(金)

※オンライン(Zoom)を利用して行
います。ドイツとの時差の関係上、
開始時刻は夕方となります。

内容：生後すぐから1歳までの発
達指標に従ったゆがみのない姿勢
運動発達を支援するプログラムで
す。西洋的な神経学的発達の理解
をベースに、東洋医学的な経絡な
どの概念も包含しながら全体的な発

達支援を行います。ベビーマッサー
ジ手技と併用することでさらに赤
ちゃんの最初の1年の発達ケアを
幅広く行うことができます。

受講料：

[ベーシック] 9万9000円(税別、
テキスト／認定料含む)

[アドバンス] 9万5000円(税別、
テキスト／認定料含む)

申込方法：件名「バランシングセ
ラピー〇コース受講希望」と明記
し、本文に①氏名、②住所、③電
話番号をご記入の上、メール※に
てお申し込みください。

[ベビーマッサーサインストラクター
(オンライン2日間コース)]

日程：

- ・3月コース：3月17日(水)・
18日(木)
- ・4月コース：4月14日(水)・
15日(木)
- ・5月コース：5月12日(水)・
13日(木)
- ・6月コース：6月9日(水)・
10日(木)

※オンライン(Zoom)を利用して行
います。

内容：今までのコースをオンライン
仕様にし、手技習得をメインにしま
した。ベビーマッサーだけでなく、
生後すぐから取り入れられるベビ
ーのハンドリングテクニックなども併
せて指導します。赤ちゃんの姿勢運
動発達を援助でき、専門家として
の知識と技術、指導ができるようお
教えます。

定員：各8名

受講料：6万円(税別、テキスト／
認定料含む)、その他教材費

申込方法：メールにて、件名「ベ
ビーマッサー〇月コース受講希

望」と明記し、本文に①氏名、②
住所、③電話番号をご記入の上、
下記アドレスにお申し込みください。

問い合わせ先(全コース共通)：

IAMB(一般社団法人国際母子ケア
協会)事務局

✉ info@iamb.jp ※

☎ 075-468-7082

HP www.iamb.jp

第35回 日本助産学会学術集会 (WEB開催)

リアルタイム(ライブ)配信：3月
20日(土)～3月21日(日)

アーカイブ配信：3月20日(土)
～5月5日(水)

テーマ：助産師として生きる—改
革と挑戦

プログラム：

- ・会長講演「改革と挑戦—変わっ
ていくことと変わらないこと」高
田昌代(神戸市看護大学)
- ・特別講演1「助産師のプロフェッ
ショナルリズム」鈴木利廣(すずか
け法律事務所、弁護士)／2「助
産とじねんの時—現代医療と自
然のはざままで」河合俊雄(京都大
学こころの未来研究センター)／
ICM 会長講演「ICM 会長から
日本の助産師へのメッセージ—
日本の助産師に期待する役割」
Franka Cadée (President,
ICM)
- ・教育講演1「助産師のアイデン
ティティの源流を探る」大出春
江(大妻女子大学人間関係学部)
／2「妊婦の行動変容のための
行動経済学」平井啓(大阪大学
大学院人間科学研究科)／3
「オキシトシンの働きから創る助
産ケア」堀内成子(聖路加国際

大学)／4「乳腺炎ケアガイドラ
イン2020 最新のスタンダードを
学ぶ」井村真澄(日本赤十字看
護大学)

- ・シンポジウム1「ウィズコロナの
時代の助産師のヒューマンケア」
／2「性暴力被害者支援—なに
が必要か／なにができるか」／3
「予期せぬ妊娠から始まるいのち
のケア」／4「コロナ禍における
助産師教育の改革と挑戦—
Sustainable な助産師教育の基
盤づくり」／5「助産政策に強く
なろう！ 助産政策委員会の活
動—2022 年度診療報酬改定
に向けて」／6「助産師が行うプ
レコンセプションケア」／7「継
続ケアの本質を探り具現化への
シナリオをつくろう」／8「助産
師として生きる—女性も助産師
も愉しくなる助産師の生き方」
- ・ワークショップ1「ケアの意味を
みつめる事例研究」山本則子(東
京大学大学院医学系研究科)／
2「しなやかな骨盤底筋群のため
のペリネケア—ガスケアブローチ
の実践」大野芳江(日本赤十字
社医療センター)／3「分娩第一
期のケアをするということ—ベテ
ラン助産師から学ぶ」山本詩子
(山本助産院)／4「妊婦の全身
を見るということ—ベテラン助産
師から学ぶ」神谷整子(みづき助
産院)／5「分娩時のわざ—ベ
テラン助産師から学ぶ」馬目裕
子(日本赤十字社医療センター)、
岡本登美子(ウバウバハウス岡本
助産院)／6「災害に備えるため
に今からできること—日常的な防
災教育ツール：減災カレンダー
助産師版」(災害対策委員会)中
島康(都立広尾病院 減災対策

支援センター), 中根直子(日本赤十字社医療センター), 吉村圭子(元熊本市市民病院), 赤井智子(日本赤十字看護大学), 宮川祐三子(大阪府立母子医療センター), など

- 交流集会 1 「Midwifery for all, Reproductive health for all — Challenges for the future」(国際委員会)Emi Nurjismi(インドネシア助産師会会長), 小黒道子(東京医療保健大学), 嶋澤恭子(神戸市看護大学), 松崎政代(大阪大学大学院医学系研究科), 古田真里枝(京都大学大学院医学研究科) / 2 「母子のための安全安心な地域包括システムの推進」井本寛子(日本看護協会) / 3 「エディターが読みたいと感じる論文」(若手活躍推進委員会)Caroline Homer(Burnet Institute), 小笠原絢子(北村医療院), 池本めぐみ(国立国際医療研究センター国際医療協力局), など

- 市民公開講座 1 「医師が教える赤ちゃん快眠メソッド」森田麻里子(Child Health Laboratory 代表) / 2 「妊娠期から熟年期までの夫婦のあり方」石蔵文信(大阪大学人間科学研究科未来共創センター)

ほか

会長講演, シンポジウムはリアルタイム(ライブ)配信+事後アーカイブ配信/特別講演, ICM 会長講演, 教育講演, リレートーク, 市民公開講座はアーカイブ配信/ワークショップ・交流集会はリアルタイム(ライブ)配信+一部事後アーカイブ配信予定。

参加費:

- 第 1 次受付(2 月 28 日まで)
[会員] 8000 円, 学生無料,
[非会員] 1 万 2000 円
- 第 2 次受付(3 月 1 日~20 日)
[会員] 1 万円, 学生無料,
[非会員] 1 万 4000 円, 学生 4000 円
- 学生の範囲は下記に該当する者とする。助産師になるための教育課程(専門学校・大学・大学院等)に在学している学生・院生(専門学校・短大・大学等に在籍する看護学生等も含む)。

申込方法:

下記ホームページより申し込み。

HP <https://jam.confite.atlas.jp/login>

問い合わせ先:

[運営事務局] 株式会社インターグループ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-20-1 インターグループビル

☎ 06-6372-3052

FAX 06-6376-2362

✉ jam35@intergroup.co.jp

HP <http://jam35.umin.jp/index.html>

第 23 回

日本母性看護学会学術集会 (ハイブリッド開催)

日程: [会場開催/ライブ配信]
5 月 22 日(土)

オンデマンド配信: 6 月 1 日(火)
~30 日(水)

会場: 幕張メッセ 国際会議場(千葉県千葉市美浜区)

テーマ: 次代へと命をつなぐ確かなケア—新たな社会生活への挑戦

プログラム: 会長講演「次代へと命をつなぐ確かなケアが未来を拓く」石井邦子(千葉県立保健医療大学教授)/特別講演「ニューノー

マル時代に看護職に求められる力」大田えりか(聖路加国際大学教授)/CNS 鼎談「日本看護協会長と語る ウイメンズヘルス領域の高度看護実践の未来像」福井トシ子(日本看護協会会長), 長坂桂子(NTT 東日本関東病院 母性看護専門看護師), 松原まなみ(関西国際大学教授)/シンポジウム「新たな社会生活における命をつなぐ確かなケア—その変革と継承」重見大介(株式会社 Kids Public, 産婦人科オンライン代表), 加藤真愛(サニーママ武蔵野代表), 中根直子(日本赤十字社医療センター 看護副部長)/教育講演, 一般演題

参加費: 第 I 期登録(4 月 10 日まで, 会場参加・WEB 参加共に) 会員 7000 円, 非会員 9000 円 / 第 II 期登録(5 月 7 日まで, WEB 参加のみ) 会員 9000 円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 2000 円

問い合わせ先: 第 23 回 日本母性看護学会学術集会事務局
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 2-10-1

千葉県立保健医療大学

担当: 川城由紀子

✉ secretariat@jsmn23.jp

HP <https://www.jsmn23.jp/>

※掲載している情報は 2021 年 2 月 8 日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。